進路通信　第６号

天王寺川中学校　進路担当
令和2年９月25日発行

種橋先生のお話「私立高校の実は・・・」 9月８日(火)６校時　総合

種橋先生は、大阪の私立高校で勤務され、校長先生としても長く務めてこられました。そこで、これから受験するみなさんに、私立高校の魅力と実際のところは・・・というご経験あってこそのお話をお願いしました。私立のメリット、合格のためのヒント・・・たくさんの情報とアドバイスをわかりやすく、そして自分はどうかと考えさせられるようなお話をしていただきました。

〔おもな内容〕

【特徴】　卒業するまで！
- 面倒見がいい　・進学実績(指定校推薦枠)　・専門性が高い(特色)
- 生活指導は厳しい　・宗教系の学校も多い(信教の自由は確保)
- 進路(４年制大学、短大、専門学校、就職)
- 高校は自主性を尊重。失敗すると停学、退学もある。
- 出席日数が足りないと留年になる。

【金銭面】公立より・・・！？
- 授業料が高い、入学金も必要(多くの奨学金、補助金もある)
- 塾、予備校に通わなくてもいい。学校で進学講座を実施。
- 制服など諸経費の出費が多い。
- 学校独自の様々な制度
(特待生、クラブ生、兄弟姉妹制度、在校生奨学生など)

【入試制度】有利な受け方あり！？
- 様々な制度　・専願(その学校だけ。合格すれば入学)
- 併願(公立合格すれば受験料のみ)
- 推薦入学制度(ただし受検はする)公立のような面接、小論文だけということはない。

【オープンスクール】実は見られている！？
- 参加すると学校名、名前が残る　・質問は積極的に
- 身だしなみはきちんとする(印象良く)
- 見た目は大切《ピアス穴・染色・服装の乱れ》＝規則は守りませんと言っている

【私学受験について】高校のプロ、そして人生の大先輩！！
- 学校をよく見る・在校生を観察　・自分に合っているか？
- 将来を考え、安易に選ばない　・学科、コースの選択は先生とよく相談
- 学校選びは自分の人生、人のせいにしない

〔感想より〕
- 私立と公立の違いが学費だけではないこと、私学の中の違いについてもよくわかりました。
- 口コミは一部の人の意見で、行ってみないと雰囲気はわからないのでオープンスクールに行きたい。
- 何度かオープンスクールに行ったけど、次から種橋先生に聞いたことを意識しようと思った。
- 私立のイメージが変わった。併願でも専願でも、しっかり考えたいと思った。
- お話を聞いて、今考えている学校が本当に自分に合っているかをもう一度考えようと思った。
- 将来の夢があるからこそ、その実現に向かって、全力を尽くして頑張りたいと改めて思った。

10月　オープンスクール参加のチャンスです

10月には多くの高等学校で学校説明会などが実施される予定です。今年度は機会が少なくなりましたが、受検(公立)・受験(私立)を考えている学校はぜひ直接見学に行ってください。11月はじめの予備懇談までに、私立高校も１校は見に行ってください。どの学校を見学すればいいのかわからないという人は、担任の先生に相談してください。参加前には計画書を、参加後には報告書の提出をお願いします。

〔10月予定　学校説明会・オープンスクールなど〕

日	おもな公立高校	おもな私立高校
３(土)	伊丹西	昇陽、箕面学園、大阪産業大附属、甲子園学院、好文学園女子
４(日)		大商学園、武庫川女子大学附属
７(水)	伊丹北〔イブニング見学会〕	
10(土)	尼崎工業［座談会形式］	育成調理師、芦屋学園、報徳、箕面自由、好文学園女子
11(日)		武庫川女子大学附属
17(土)		梅花、園田学園、好文学園女子、甲子園学院
18(日)		大商学園、星翔
24(土)	県立伊丹、市立伊丹、市立尼崎、大阪府立園芸、尼崎北	仁川学院、昇陽、好文学園女子、関西学院、大商〔伊丹出張、ことば蔵〕、大阪、大阪産業大附属
25(日)	尼崎双星、有馬、尼崎西、市立西宮	宣真、大阪産業大付属、雲雀丘
28(水)	伊丹北〔イブニング見学会〕	
31(土)	市立伊丹、宝塚東、西宮東	報徳、百合学院、好文学園女子

＊上記は一例です。他にもたくさんの学校が10月に実施しています。学校説明会、入試説明会、授業体験、コース説明会、個別説明会、体験入学、実習授業など形式も様々です。今年は特に人数制限のある学校も多いので、申込みに気をつけてください。既に締め切られている場合もあります。参加を希望される場合は、ホームページなどで詳細を調べてご準備ください。

合否の基準？

「合格できるのか？」いちばん気になるところだと思います。今年はどうか、確かなこと誰にもわかりません。しかし、高校からの今年の情報と、過去の先輩たちがどのような成績でどのような結果になったかというデータに基づいて「合格の可能性を判断」することはできます。今可能性があっても、今後の努力がなければ、体調不良で受験できなければ、もちろん合格はありません。自分の適性（興味・性格・能力）に合っていて、将来を見通した上での自分・保護者の希望、そして合格の可能性（評定・実力テスト等）を総合して志望校を決定しましょう。

<お知らせ>　「公立高校推薦の過去問題がほしい」という人は、担任の先生に依頼してください。すべてではありませんが、できる限り対応します。